

2018/2019 年度 第 2 回全国委員会 議事要旨

日時: 2018 年 12 月 2 日(日) 10:30-17:00

会場: 明治大学駿河台キャンパス研究棟 4F 第 2 会議室

出席者: 呑海沙織(委員長)、上村順一(事務局長)、赤澤久弥(常任)、牛島千穂(常任)、西脇亜由子(常任)、和知剛(常任)、川端幸枝(北海道)、鈴木正紀(埼玉・常任)、加藤晃一(千葉)、山口友里子(東京)、中島慶子(東海)、安東正玄(京都)、吉田弥生(大阪)、井上昌彦(兵庫)、楫幸子(広島)、山下大輔(九州)、野間口真裕(学術基盤整備研究・通信常任)

配付資料:

1. 第 49 回全国大会(九州大会)決算案
2. 第 50 回全国大会(兵庫大会)実施案
3. 編集作業進捗状況報告
4. 研修ツアーの概要について
5. 収支状況報告
6. 2018/2019 年度各グループ宛送金報告
7. 会員現況報告
8. 入退会に係る常任委員審議方法の変更及び退会申請時のグループへの通知の追加
9. グループ活動報告
10. EBSCO 社データベースに当国会報『大学の図書館』掲載記事を登録する件について
11. 大学図書館問題研究会ロゴマーク募集要項(案)
12. 会費長期未納者への督促対応について、《机上配付資料:長期未納者一覧》
13. 大学図書館問題研究会誌査読規程(案)
14. 会員情報のグループ関係者への安全な引き渡し方法提案
15. 年度途中の会員の地域グループへの参加状況変更への対応について
16. 大学図書館問題研究会の出版物の今後について
17. 《机上配付》地域グループ別会費納入状況一覧

1. 報告事項

1.1. 小委員会・事務局

1.1.1. 全国大会小委員会

- 1) 第 49 回全国大会(九州大会)決算案
 - ・ [資料 1]により、赤澤全国大会小委員長から説明があり、内容を確認した。
 - ・ なお、決算案は、常任委員会及び第 49 回大会実行委員会で事前に確認済み。
- 2) 第 50 回全国大会(兵庫大会)実施案
 - ・ [資料 2]により、赤澤全国大会小委員長から説明があり、内容を確認した。
 - ・ 続いて、呑海委員長から、第 50 回全国大会実行委員会委員長の公募について、山下大輔氏から立候補があり、常任委員会で山下氏の実行委員長就任を承認したことの報告があった。また、次回全国委員会には、山下実行委員長が出席することを確認した。
 - ・ 山下氏より実行委員長就任にあたっての挨拶があった。

1.1.2. 研究企画小委員会

- 1) 第 27 回大図研オープンカレッジ(DOC)の開催担当について
 - ・ 西脇研究企画小委員長より、東海地域グループで担当することになったことの報告があった。

- ・ 中島委員(東海地域グループ)より、企画内容を検討していることの報告があった。

1.1.3. 会報編集小委員会

1) 編集作業進捗状況報告

- ・ 呑海委員長から、会誌編集体制強化のため、従来の編集小委員会を会報編集小委員会および会誌編集小委員会としたことの報告があった。
- ・ [資料 3]により、鈴木会報編集小委員長から、会報編集作業進捗状況および来年度の編集分担検討状況の報告があった。
- ・ 鈴木会報編集小委員長(前編集小委員長)から、会誌45号(2018年8月発行予定)の進捗状況報告があった。

1.1.4. 会誌編集小委員会

1) 会誌の刊行遅れについて

- ・ 和知会誌編集小委員長から、会誌45号刊行遅れのお詫びを会報12月号に掲載することの報告があった。また、今後の編集作業についての協力要請があった。
- ・ 呑海委員長から、会員の発表の場としての研究会誌の位置づけについて、改めて説明があった。また、査読論文について体制を整え、活発な投稿を目指すため、査読および投稿促進について協力要請があった。

1.1.5. 広報小委員会

1) 現況報告

- ・ 上村事務局長から、地域グループニュースの今後のあり方を検討しており、あらためて案を提示する予定であることの報告があった。

1.1.6. 五十周年記念事業記念出版物編集小委員会

[報告事項なし]

- ・ 鈴木記念出版物編集小委員長から、企画案の検討を進めていることの報告があった。なお、刊行形態を含めた予算案など具体的な検討を進めることとなった。

1.1.7. 五十周年記念事業海外図書館研修ツアー検討小委員会

1) 研修ツアーの概要について

- ・ [資料 4]により、牛島ツアー検討小委員長から、概要案および企画略称の報告があった。また、本企画の広報について協力要請があった。
- ・ 次の意見があった。
 - ・ 研修ツアーの期間が短いほうが参加しやすいのではないか。→現案で応募がない場合は検討したい。
 - ・ 概要案に旅費が計上されていれば、大学に予算要求できる可能性が出る。→検討する。
 - ・ 参加報告を会誌などに寄稿してもらえるとよいのではないか。→検討する。

1.1.8. 五十周年記念事業大学図書館問題研究会の名称に係る検討小委員会

- ・ 和知小委員長から、メンバーを募ることの報告があった。

1.1.9. 事務局

1) 事務局業務進捗報告

上村事務局長から、次の報告があった。

- ・ 2018/09/08(土) 2017/2018年度第5回全国委員会開催

- ・ 同日 第 49 回大学図書館問題研究会全国大会にて会員総会開催
- ・ 同日 2018/2019 年度第 1 回全国委員会開催
- ・ 2018/10/06(土) 2018/2019 年度第 1 回常任委員会開催
- ・ 2018/11/17(土) 2018/2019 年度第 2 回常任委員会開催
- ・ 2018/12/01(土) 2018/2019 年度第 3 回常任委員会開催

1.1.10. 事務局出版担当 (担当: 上村事務局長)

- ・ 報告事項なし

1.1.11. 事務局会計担当

1) 収支状況報告

- ・ [資料 5]により、上村事務局長から報告があった。

2) 各グループ宛送金報告

- ・ [資料 6]により、上村事務局長から報告があった。

1.1.12. 事務局会費徴収担当

1) 会費納入状況報告

- ・ 机上配付資料により、赤澤委員から報告があった。また、11 月 26 日に会費納入依頼を発送したことが補足された。
- ・ 会費納入依頼を発送した場合は、dtk-z で報知することとなった。

1.1.13. 事務局組織担当

1) 会員現況報告

- ・ [資料 7]により、上村事務局長から報告があった。

2) 入退会に係る常任委員審議方法の変更及び退会申請時のグループへの通知の追加

- ・ [資料 8]により、上村事務局長より報告があった。

1.2. ワーキンググループ

1.2.1. 全国大会 WG

- ・ 赤澤ワーキンググループ長より、運営ノウハウのマニュアル化を進めていくことの報告があった。

1.2.2. 出版・管理 WG (担当: 呑海ワーキンググループ長)

- ・ 報告事項なし

1.3. グループ

- ・[資料 9]により、以下のとおり、各委員から報告があった。

- 1.3.1. 北海道地域グループ (担当: 川端委員)
- 1.3.2. 埼玉地域グループ (担当: 鈴木委員)
- 1.3.3. 千葉地域グループ (担当: 加藤委員)
- 1.3.4. 東京地域グループ (担当: 山口委員)
- 1.3.5. 東海地域グループ (担当: 中島委員)
- 1.3.6. 京都地域グループ (担当: 安東委員)
- 1.3.7. 大阪地域グループ (担当: 吉田委員)
- 1.3.8. 兵庫地域グループ (担当: 井上委員)
- 1.3.9. 広島地域グループ (担当: 楫委員)
- 1.3.10. 九州地域グループ (担当: 山下委員)
- 1.3.11. 学術基盤整備研究グループ (担当: 野間口委員)
- 1.3.12. 地域文化研究グループ (担当: 中島委員)

2. 審議事項

2.1. EBSCO 社データベースに当会会報『大学の図書館』掲載記事を登録する件について

- ・ [資料 10]により、鈴木会報編集小委員長から説明があり、EBSCO 社データベースの被採録対象となることを承認した。
- ・ 次の意見があった。
 - ・ 大図研ウェブサイトでのアーカイブも可能か。→可能。但し、EBSCO 社がデジタル化したものを公開することは難しい。
 - ・ 登録対象は、大図研で決められるのか。→決められる。
 - ・ 会誌は対象外か。→対象外。

2.2. 大学図書館問題研究会ロゴマーク募集

- ・ [資料 11]により、和知小委員長から説明があり、意見があった修正点を検討の上、反映するものとして募集要項案を承認した。
- ・ 会誌 2019 年 1 月号に応募を告知することになった。また、採用者には 3 万円、次点は 2 名各 1 万円の図書カードを贈呈する案を検討することになった。
- ・ 次の意見があった。
 - ・ 仮に大図研の名称が変更された場合、その後も使用できるものがよいのではないか。
 - ・ 将来に渡って使用する可能性があるため、「50 周年」は入れないほうがよい。
 - ・ 「dtk」記載有無の条件を記載したほうがよい。
 - ・ マークのコンセプトを応募者が記入できるほうがよい。

2.3. 会費長期未納者への督促対応について

- ・ [資料 12]および長期未納者リスト(机上配付資料)により、赤澤委員から説明があり、督促・送金スケジュールの変更点(全国委員会での協力要請等)を承認した。
- ・ 後日会費徴収担当より、dtk-z に、2019 年 1 月を期限として長期未納者に関する情報提供依頼をすること、また、その際の連絡先は組織担当メアドとすることになった。
- ・ 呑海委員長より、未納により退会となった会員についての情報提供の要請があった。
- ・ 上村事務局長より、連絡先が不明な会員についての情報提供の要請があった。

2.4. 「大学図書館問題研究会誌」査読規程の制定

- ・ [資料 13]により、和知会誌編集小委員長から説明があり、査読規程案を承認した。

- ・ 次の意見があった。
 - ・ 査読はダブルブラインド方式でなくてよいか。→検討の結果、シングルブラインド方式とした。

2.5. 会誌の刊行頻度について

・和知会誌編集小委員長から、2019 年より、掲載論文・記事の質的向上を目的として、年刊に変更する案について説明があり、承認された。

- ・ 次の意見があった。
 - ・ 地域グループにおける購入予算立案の関係から、年刊の価格を知りたい。→検討する。

2.6. 会員情報のグループへの安全な引き渡し方法提案

・[資料 14]により、上村事務局長(組織担当)から説明があり、意見があった修正点を検討の上、反映するものとして提案を承認した。修正案は、おつてメールで確認を求めることとなった。また、会員資格に係る罰則についての会則改正案は、次回全国委員会に提出することとなった。

- ・ 次の意見があった。
 - ・ 2.1 項の記述は、「請求範囲は原則的に当該グループに限る」とする。
 - ・ 2.4 項の記述は、「常任委員会に請求があった場合」とする。
 - ・ 2.5 項名は、「罰則」とする。
 - ・ 使用後のデータ消去等、データ管理義務に係る項を追加する。
 - ・ データの請求を行うフォームを準備する。

2.7. 年度途中の会員の地域グループへの参加状況変更への対応について

・[資料 15]により、西脇研究企画小委員長から、検討素案としての説明があった。地域グループからの意見も受けて検討することとなり、次回全国委員会での継続審議となった。

- ・ 次の意見があった。
 - ・ 案1)は、4 月時点で会員数が判明するという、地域グループの会計管理上の利点がある。
 - ・ 案2)は、年度変更間際まで入会希望に対応できるのが利点である。

2.8. 大学図書館問題研究会の出版物の今後について

・[資料 16]により、呑海委員長(出版・管理 WG 長)から、会誌および会報の今後の方向性について、下記のような提案があった。

- (1) 会員へは、会報に加えて、会誌も無料頒布する。
- (2) 会員へは、デジタル版を頒布する。頒布方法は、これから検討する。
- (3) 会員以外へは、原則的に紙版を有料頒布する(変更しない)。

地域グループからの意見も受けて検討することとなり、次回会員総会へ向けて継続審議となった。

- ・ 次の意見があった。
 - ・ デジタル化は、可視性の向上の観点から賛成である。
 - ・ 会員への無償頒布は、会員になる利点として訴求性がある。

3. その他

なし。

以上